

イノベーションの種類

テクノロジーイノベーション

<着眼点>①

発想展開マップボードの活用

<概要>

「発想展開マップボード」上に、いつでも気楽に新技術、新製品のアイデアやヒラメキを書き、まとめていく環境をつくり、新製品開発を促進させる

課題発見のヒント

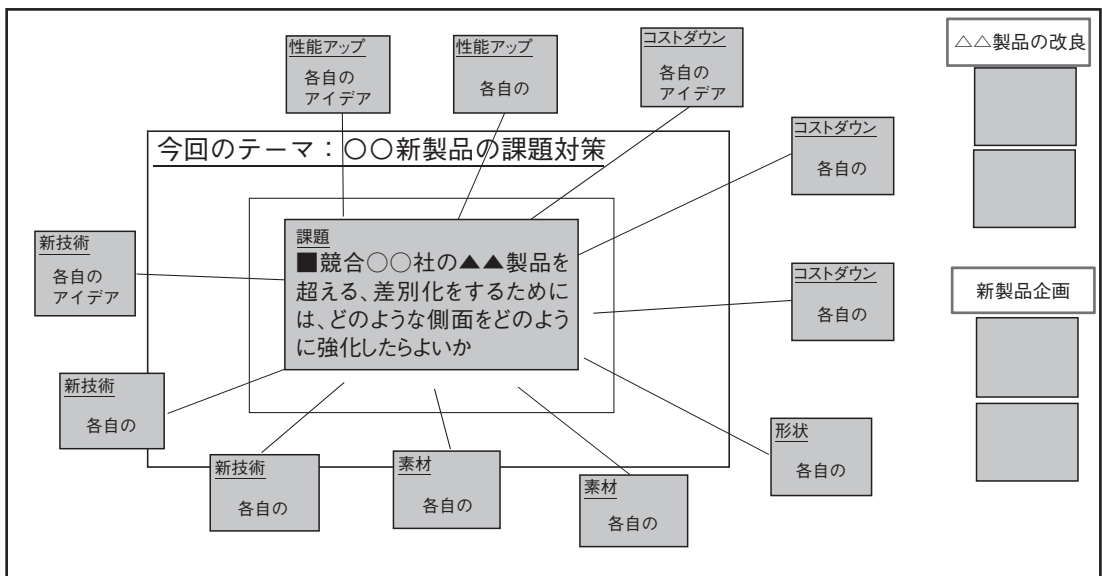
開発・設計部門は、一歩先を見据えて「売れる製品を迅速に開発・製品化」することが重要な役割である。開発企画会議などでは、報告が中心であり、限られた時間内では、次世代の技術や製品アイデアについて柔軟な発想を出し合うことが難しい。担当者は日頃から考えていると思うが、思うように新たな構想が浮かばなかったり壁にぶち当たったりすることも多い。新たな技術や製品アイデアは、日常業務の合間にひらめいたり、仲間との雑談や会話の中から生まれたりする。しかし、すぐに書き留めることができないためアイデアが具現化しにくい。そのためには、執務エリア内に「発想展開マップボード」を設置し、メンバーがブレイク・スルー方式(従来の考え方の枠を大きく、打ち破った考え方で解決策を見出す)などによりいつでも気楽にアイデアを出し合える環境を整備することが重要である。

改革の進め方

1. 「発想展開マップボード」を設置する
執務エリアのグループの席の近くにホワイトボードを設置する。
2. 課題テーマを抽出する
新技術、新製品、既存製品の改良、他社製品との差別化など気になっているキーワードや会社から与えられた課題などを分野別に色別したポストイットに書き出しボードに貼り出す。
3. 課題テーマを選定する
分野別に貼り出されたポストイットから重要度、緊急度から発想展開の順番を決める。
今回(今月)のテーマ以外のポストイットは分野別にホワイトボードの右サイドに移動する。
4. 発想展開の進め方をルール化し実践する
書き方のルールを決めてブレイク・スルー方式で発想展開し構想をまとめていく。

事例

発想展開マップボード



(小林 啓子)